

第8回 京都大学人文科学研究所
TOKYO 漢籍 SEMINAR



趙元任
見えざることを
描き出す

池田 巧



陳寅恪
教授の教授
その生き方

古勝隆一



王国維
過去に希望の火花
をかきたてる

井波陵一

清華の二巨頭

— 新しい中国学の始まり

日時 |

2013年3月19日(火) 10:30~16:00

場所 |

学術総合センター 一橋講堂
(千代田区一ツ橋2-1-2)

申込み／問合せ先 |

聴講ご希望のかたは、「漢籍セミナー申込み」と明記し、氏名・所属・連絡先(住所・電話番号・E-mail アドレス)をご記入のうえ、下記宛先までハガキもしくは E-mail または Fax でお申込みください。折り返しハガキにて参加の可否についてのご連絡をさしあげます。

京都大学人文科学研究所
附属東アジア人文情報学研究センター

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
電話:075-753-6997 FAX:075-753-6999
E-mail:kanseki-tokyo@zinbun.kyoto-u.ac.jp

聴講無料／要申込み



第8回 京都大学人文科学研究所 TOKYO 漢籍 SEMINAR

清華の三巨頭 ——新しい中国学の始まり

2013年3月19日(火)
於 学術総合センター 一橋講堂

● 今回の概要

1908年、アメリカは義和団賠償金のうち約1200万ドルを中国側に払い戻し、留米学生の派遣、その予備校としての清華学校の設立(1911年)など、文化事業の資金にあてて好評を博した。1925年、清華学校に附設されたいわゆる「国学研究院」に招かれた教師たちは、20世紀の中国学の発展に大きく貢献し、今なお高く評価されている。彼らの業績を紹介しつつ、その偉大さの本質に迫ってみたい。

● プログラム

10:30~10:45 開会挨拶

京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター長
富谷 至

10:45~12:00 講演

王国維 —— 過去に希望の火花をかきたてる

京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター教授
井波陵一

12:00~13:10 休憩

13:10~14:25 講演

陳寅恪 —— “教授の教授”その生き方

京都大学人文科学研究所准教授
古勝隆一

14:25~14:40 休憩

14:40~15:55 講演

趙元任 —— 見えざることばを描き出す

京都大学人文科学研究所准教授
池田 巧

15:55~16:00 閉会挨拶

司会 武田時昌 (人文科学研究所教授)

*講演時間には質疑応答時間を含みます。

● 参加定員 500名(申込順)

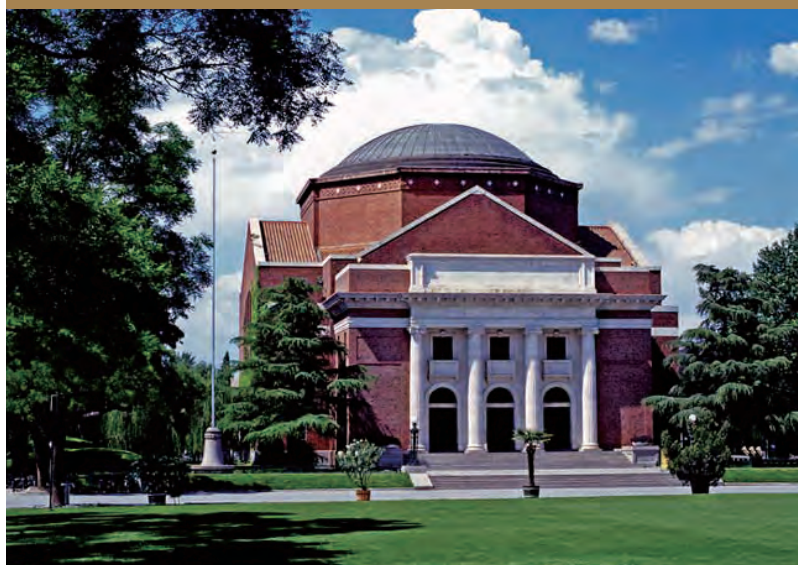
*定員を超えた場合にはお知らせします。

[主催]

京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター



清華大学 二校門



清華大学 大礼堂



清華学術



学術総合センター 一橋講堂 (千代田区一ツ橋2-1-2)

● 会場への交通機関

- ・東京メトロ 半蔵門線、都営地下鉄 三田線・新宿線「神保町駅」A8出口より徒歩5分
- ・東京メトロ 東西線「竹橋駅」1b出口より徒歩5分